



## 那須岳の噴火を想定した 合同訓練を実施しました

1月30日、町文化センターで那須岳の噴火を想定した那須岳火山防災合同訓練を開催しました。訓練には、近隣市町村や警察、消防、日光砂防事務所など那須岳火山防災協議会の構成機関が参加しました。

午前の部は、噴火警戒レベルが3（入山規制）から4（避難準備）に引き上げられ、山頂から半径4kmの範囲の入山規制措置が必要となった場合を想定し、机上訓練を行いました。参加者は規制ポイントの確認、規制範囲にある観光施設等の対応、近隣市町村の「避難準備・高齢者等避難開始」発令について議論しました。



午後の部は、噴火警戒レベルが3（入山規制）から4（避難準備）に引き上げられ、規制範囲近隣の小学校児童の避難および観光施設（観光客）への情報伝達が必要となった際の対応について訓練を実施しました。この訓練では、那須小学校児童の避難訓練や保護者への引き渡しが行われました。

那須小学校では町からの避難指示発令を受け、防災頭巾とマスクを着用した児童33名と教員9名が町公用車11台に分乗して町文化センターまで避難し、無事に保護者への引き渡しを行うことができました。



同日午後には大ホールで講演会が開催され、町内外から多くの方が参加しました。火山防災に関する専門家3名（宇都宮大学名誉教授 中村洋一氏、防災科学技術研究所 棚田俊收氏、宇都宮地方気象台 福田信夫氏）が講演し、多くの登山客や観光客が訪れる本町での火山防災体制整備の重要性について説明があったほか、那須岳に設置されている火山活動を調査するための機器の紹介やデータの公開、気象庁が発表する火山防災情報や種類についての説明がありました。

訓練と講演会には、関係機関、住民等合わせて472名が参加しました。



### 防災のワンポイント

甚大な被害があった東日本大震災から7年が経ちます。東日本大震災の教訓を活かし、地震が発生しても、慌てず落ち着いて行動しましょう。

#### 【発災時の行動】

- ① 落下物等から、自分の身を守る。
- ② 揺れが収まってから行動する。
- ③ 出口を確認する。
- ④ 火元を確認する。
- ⑤ ガラス窓や扉から離れる。
- ⑥ プレーカーを落として通電させない。
- ⑦ 電気のスイッチに触らない。
- ⑧ 不要不急の電話の使用は控える。

## ヤフー！ 防災速報

現在地と指定した地域の地震、豪雨、警報などの情報をまとめて得ることができるほか、町からの防災に関する緊急情報を直接受け取ることもできます。

携帯電話やパソコンなどでURL

(<http://yahoo.jp/lhPO5z>)

QRコードを読み取ってアクセスしてください。※メール版もあります。



■問合せ 総務課防災交通係 ☎72-6902